

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 住友生命保険相互会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		定期的な人権研修を実施している。また、LGBT支援の取組みとして「経営者宣言」を社内外に発表したり、女性活躍推進に関する行動計画の策定や障がい者雇用の促進を図り、一人ひとりを尊重する風土づくりを行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		職員一人ひとりが互いに尊重しながら協力して働く、明るく活き活きとした職場環境の構築を目指し、「2021年度心の健康づくり計画」を策定しストレスチェックの実施やメンタルヘルス不調者への対応だけでなく職場でのコミュニケーションの活性化などを含めた広い意味での健康づくりに取り組む体制を整備している。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の公正な待遇については当局の指導に基づき、全国一律で厳正に実施している。					5.5				8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		全ての役職員が子育て期、中高年期といったライフステージに応じた多様な働き方を実現し、一人ひとりの「ワークライフバランス」を通じて、互いに尊重しあう活き活きとした職場を目指している。			3		5.5				8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		2021年4月に社長直轄の部門横断組織「人財共育本部」を立ち上げ、新しい価値を創造できる「人財」作りに向けた中長期的な戦略の検討を開始し、お客様、職員、社会にとって「なくてはならない」生命保険会社を目指している。				4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		いつまでも安心して健康に暮らすことが出来る社会の実現に向けて、住友生命「Vitality」に関する事業を推進し、従業員とご家族、そして社会全体へと、健康診断の健康増進の実施や定期的な運動の実施などについて働きかけを行い、「健康寿命の延伸」という社会的課題の解決に取り組んでいる。			3						8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		毎年、ダイバーシティに関する管理職向けセミナーを実施したり、社内でも活躍する方を紹介するなどして、継続的に多様な人材の尊重と意識・風土醸成の取組みを行っている。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		コロナ禍において感染予防の観点からテレワークや時差出勤の実施、ZoomやTeamsを使ったウェブ会議の実施など、積極的に新しい働き方を導入している。			3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		お客様対面業務のデジタル化(ペーパーレス化)やICTやAIを活用した「働き方変革」を実施することにより、個々人のパフォーマンス向上に取り組んでいる。									8	9.1		11	12							
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 住友生命保険相互会社 熊本支社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		事業活動の中で産廃物や有害化学物質を取り扱っていないため管理、処理することはないが、ごみの分別など身の回りのものの廃棄には各自治体の取り決めに従って行動することを徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		自社のエネルギー使用量を適切に把握するとともに、当社が所有するテナントビルへの省エネ型設備の導入や、冷暖房設備のきめ細やかな温度設定などを通じて省エネ推進に取り組んでいる。							7.3							13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		カーボンニュートラルの実現に向け取組み、2030年度のCO2排出量削減を目指している。(Scope1+2:40%削減、Scope3:30%削減)なお、CO2排出量実績は、当社で把握した数値(※)について第三者機関による保証を受けている。 (※)各所管部署にて算出し、取りまとめている。 事業活動を通じては、エコバッグ・マイボトル推進による廃棄物削減等職員参画型の取組みや紙使用量・電気使用量削減を更に推進し、機関投資家としては、投融資先の脱炭素化に向けて対話を促進している。			2.4										12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		マイバック・マイボトル持参運動を含む環境保護活動について通知などを行い理解促進を図っている。また、事務所内のごみの分別回収に協力している。						6.6										14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		従来からの紙資源の再利用に加え、ウェブ会議を推進するにあたり、会議における資料配布を大幅に減らし、画面上での資料共有にて運営することとしている。これによって紙利用の大幅な縮減を達成している。											9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		熊本支社が入っている熊本ビルのトイレには自動水栓を設置している。また、職員一人ひとりが豊富な水資源に感謝するとともに節水を心掛けている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.7						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		印刷用紙には再生紙を使用している。また、トイレの便座を閉めることにより電気代を削減するような啓発チラシを掲示する等、職員が環境を意識するような配慮を行っている。												9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		職員の家庭で余剰となっている食品を収集し、1人親世帯や高齢者等の食事に不自由している方に寄付する「フードドライブ」を実施している。		1	2				6.4								12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●																	11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																		12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●														9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			2021年4月に「温室効果ガス排出量2050年ネットゼロ」を決定し、中間目標として2030年度において「Scope1+2:2013年度比40%削減、Scope3:2019年度比30%削減、資産ポートフォリオ2019年度比42%削減」を設定している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8		13					17.2	

